※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究（理科）	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究古文」「古典探究漢文」　（数研出版）						
副教材等	「つながる・まとまる古文単語 500」（いいずな書店）、「古典常識も学べる　新明説総合古典文法」（尚文出版）、「基礎から解釈へ　漢文必携」（桐原書店）、「プログレス古典総演習標準編」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、時期で言えば、約二千年前の作品から約二百年前の作品まで、ジャンルで言えば小説、随筆、歴史物語、日記、和歌、漢詩などの作品を読みます。

①まず作品を楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。
②現代の我々を取り巻く文化は、「古文」「漢文」が伝えてきた、人間や自然をどう捉えるか、どう生きるかという視点の影響のうえに成り立っています。
③また古典の作品では、現代の作品とは異なる視点ながら、人間のありように深く迫る作品が存在します。
④このような魅力を持つ古典の作品を読み、鑑賞し、筆者、級友、教員など他者の捉え方に耳を傾けることで、自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の一つを手にしてほしいと考えています。

2　学習の到達目標

・優れた古典の文章を通して、作品の背景知識や我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・構成や構文に留意し、語句の意味を的確に捉えて、文章の内容を理解する。
・古文においては、主体判定・５Ｗ１Ｈを押さえつつ、登場人物や筆者の心理を読み解く。
・漢文では、比喩や寓話を的確に理解すること。また、句法をしっかりと理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査	故事 ［教材］ 「漱石沈流」	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	歴史物語 ［教材］ 『大鏡』 「花山天皇の出家」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	思想 ［教材］ 『老子』「無用之用」 『荘子』「夢為胡蝶」	a：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
前期期末考査	日記文学 ［教材］ 『更級日記』「東路の道の果て」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	物語 ［教材］ 『源氏物語』「光源氏誕生」 「小柴垣のもと」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	漢詩 ［教材］ 「中国の詩」「日本の詩」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：中国の古体詩と、その影響を受けて書かれた日本文学の関係性について、積極的に考察しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期中間考査	随筆 ［教材］ 『方丈記』「閑居の気味」 『徒然草』「あだし野の露」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	史伝 ［教材］ 『史記』「鴻門之会」「四面楚歌」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
後期期末考査	文章 ［教材］ 「桃花源記」 「売油翁」	a：古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：用いられた修辞や本文構成を粘り強く分析しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	日記文学 ［教材］ 『建礼門院右京大夫集』「なべて世の」「大原まうで」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：平資盛の逸話について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間